

~~~~~  
このたびの大震災で被災された組合、組合員の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。全ク連では組織の力を結集し、被災者支援につつまして、できることから始めております。ぜひとも全国の皆様の協力をお願い申し上げます。  
~~~~~

## クリーンライフ協会

「東日本大震災で被災されたクリーニング業界関係者の皆様を支援するためのサイト」を立ち上げ

クリーニング業界を横断的に組織する団体であるクリーンライフ協会（青山亨会長 / 全ク連会長）は4月15日（金）“東日本大震災で被災されたクリーニング業界関係者の皆様を支援するためのサイト”としてホームページを立ち上げた。

全ク連も加盟しているクリーンライフ協会では3月25日（金）に緊急理事会を開催し、被災者や被災地域のクリーニング店への支援策を検討した。同サイトはその支援策の一つで、復旧にあたって必要な各機械メーカーや機材商等の連絡先（営業状況を含む）等の情報を、同協会のホームページ上で提供し、業界全体をバックアップする。

ホームページの主な内容は「震災からの復旧に向けた機械・機材・資材等各業者の連絡先一覧」に加え、「協会の活動、プロフィール」「被災地支援募金」「被災地への応援メッセージ」や「国や行政の支援策」等で構成されている。

【クリーンライフ協会のホームページ】

<http://clnw.jp/>

全ク連ホームページの「リンク」からもアクセスすることができる。

## 社団法人全国生活衛生同業組合中央会

政府等に震災復興支援に関するクリーニング業界等の要望書を提出

社団法人全国生活衛生同業組合中央会では、クリーニング業をはじめとした生活衛生関係営業16業種が訴える「東日本大震災による被災営業者等の復興支援に関する要望書」を取りまとめ、4月11日以降、細川律夫厚生労働大臣、民主党生活衛生業振興議員連盟・赤松広隆会長、自由民主党生活衛生議員連盟・伊吹文明会長等に提出した。要望書の内容は「融資対策」「業務用燃料の確保」「税制・雇用・休業補償」「電力対策」や「原発による風評被害対策」等で、その中で示されたクリーニング業関連の内容はクリーンライフ協会にて業界の総意として取りまとめられたものとなっている。全ク連ホームページ「お知らせ」（4月14日掲載）をご参照いただきたい。

全ク連情報第1090号（4月5日発行）でもお伝えしたが、民主党生活衛生業振興議員連盟懇談会では赤松会長の尽力により仙谷由人内閣官房副長官（被災者生活支援特別対策本部・本部長代理）に直接要望する機会を得ており、今回の要望書提出で、さらにクリーニング業界の意向が国の取り組む復興支援策に反映されることが期待される。

## 被災された組合員の方々への義援金のお願い

現在、全国の組合員の方々には、東日本大震災で被災された組合員や被災された方々への支援のひとつとして義援金の募金活動にご協力いただいています。全ク連情報でもお伝えしていますが、全ク連が全国の組合員の方々にお願いしている義援金活動は次の2種類があります。

### 被災された組合員への義援金

1 組合員当たり5千円を目標に義援金の拠出をお願いしているもの。被災された組合員の方々を直接支援するためのもので、全額を被災された組合に贈遺いたします。

#### 義援金が配分するまでの基本的な流れ

趣旨に賛同いただいた全国の組合員 各組合 全ク連 被災地の組合 被災組合員

配分についての詳細は、被害実態全体が明らかになった段階で、理事会等で協議の上決定します  
業界を挙げての義援金の募金活動

クリーンライフ協会の主旨に賛同した組合員店の各店頭において利用者等にも義援金を募り、日本赤十字社を通じて被災地域全体に贈遺するもの。この義援金はクリーンライフ協会の会員各団体・企業並びに傘下の各会員の善意によるもので、業界全体で取り組む社会貢献活動です。

#### 義援金が配分するまでの基本的な流れ

趣旨に賛同いただいた組合員店頭で利用者等を対象に募金活動

各組合 全ク連 クリーンライフ協会 日本赤十字社 義援金配分委員会  
被災した地方公共団体等 被災者

「被災された組合員への義援金」については、すでに各都道府県組合で組合員の方々が集まる会合等で取り組んでいただいているかと存じますが、栃木県組合（柿沼康夫理事長）では4月17日（日）に栃木県組合青年部（横塚康一部会長）と協力して、元栃木県組合理事長の田部井高四氏（栃木県組合相談役、元全ク連理事）の叙勲受章祝賀会にかけつけた栃木県組合の組合員や関東甲信越ブロックの組合役員の方々を中心に7万円を超える義援金を集めました。

柿沼理事長は「華やかなことに対する自粛ムードが漂っていますが、我々が元気にならないと後方支援もできません。栃木県組合でも被災された組合員の方はいますが、他県にはもっとたいへんな状況を抱えている組合員の方々がいらっしゃいます。ともに復旧を目指していきたいと考えています。青年部と協力して集めた義援金を被災された組合員の方々への支援としてぜひ、役立ててほしいと思います」。横塚青年部会長は「このたびの東日本大震災は東北地域だけではなく関東地域等も含め、非常に広い範囲にあまりにも甚大な被害をもたらしました。青年部としても被災された組合員の方々を支援したいと感じ、義援金を集めさせていただきました」と話しています。

全国の組合員の方々には引き続き、被災された組合員の方々への義援金の拠出、並びに社会貢献活動としての利用者への義援金募集活動にご理解並びにご協力のほどをお願いいたします。

《各種情報を発信中です》

全ク連ホームページ <http://www.zenkuren.or.jp/>

全ク連ツイッター <http://twitter.com/zenkuren>